

SHIRAKOBATO

しらこぼと



2000.6

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 194

日本野鳥の会 埼玉県支部

ここまで広がったよ！シラコバト

—見つけ隊、6ヶ月の活動記録—

4月1日からの「シラコバトキャンペーン」では、たくさんの方から観察報告が送られてきました。あらためて皆様のご協力にお礼申し上げます。

2000年1月から始めたシラコバト調査も、早いもので5ヶ月目に突入しました。昨年11月からの準備を含め、6ヶ月間の活動をまとめてみました。

■調査活動

2年間を予定している調査の初年度は、会員からの観察報告を中心にし、隊員が空白域の観察を補完していく形で進めている。しかし、ただ闇雲に探しても見つかるわけがないので2つの仮説をたて、搜索場所を絞り込むことにした。

第1の仮説は、シラコバトが越谷近隣の養鶏場に集中して生息していたことから、「養鶏場などの畜産農家を主な餌場としている」ということ。そこで、インターネット・タウンページで畜産業者を調べ、リストを作成し(県内408軒、近県238軒)、調査を進めているが、やはり発見の確率が高い。

第2の仮説はシラコバト生息条件の1つに水場が必要なことから、「河川や用水沿いに分布を広げる」ということである。この仮説は、今後調査空白域を埋める作業に有効と思われる。

■観察報告の集計

調査開始から5月7日の「見つけ隊定例打ち合わせ」までに確認した観察報告は、49名

の方から延べ266件の観察報告があった。観察地域は1/25,000地形図で20枚分の広さになる。第3次メッシュ(上記地形図を東西南北各10等分した約1km四方の区域)で133メッシュになる。観察報告は1件1件地図と比較し第3次メッシュ・コードを振り、パソコンに入力している。電子データ化する事により、いろいろな角度で分析が可能になる。正確に縮尺した電子地図上にメッシュコードで集計したデータをプロットした図で生息域を捉えることが出来る。本特集用に「河川・用水図」にデータをプロットしたが、仮説2を裏付けるような図になった。

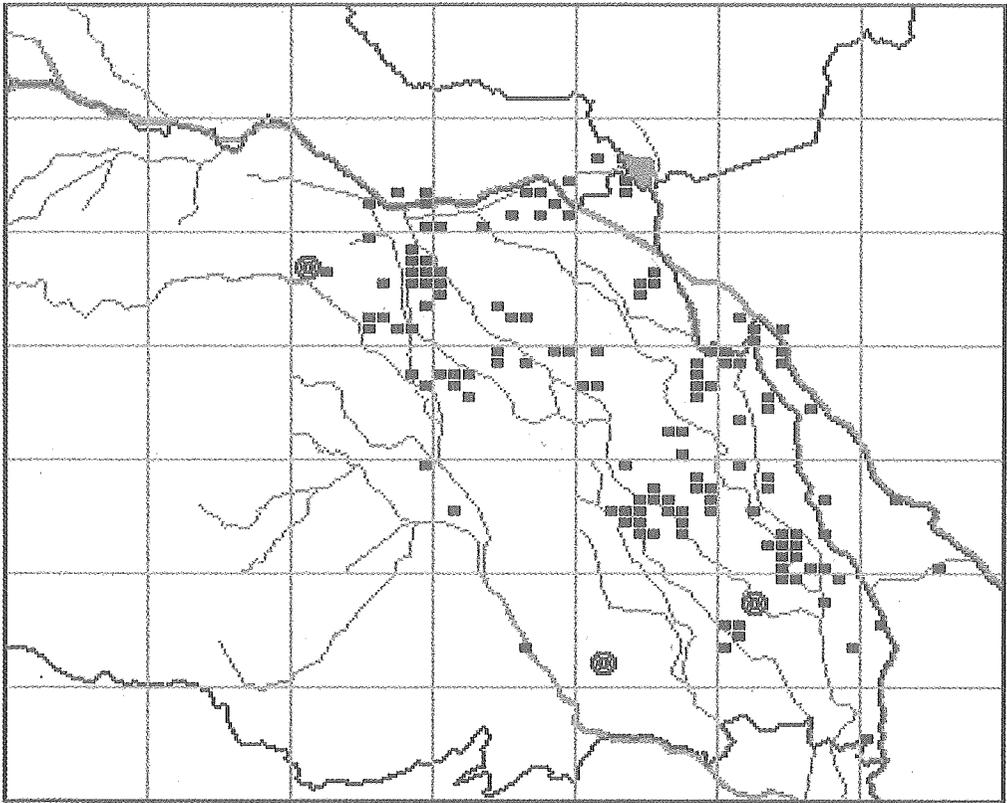
■ネガティブ・レポート

4月のキャンペーンでシラコバトがいない地域の報告もお願いしたが、6名の方から川越市、鶴ヶ島市、狭山市、入間市、日高市をはじめ21地域の報告を頂いた。今後の活動において調査除外地域の資料として活用させて頂きたい。観察報告のある区域周辺にお住まいの方は、是非ネガティブ・レポートで調査

シラコバト観察報告地域

2000年5月7日現在

地形図名	2次メッシュ	3次メッシュ	地形図名	2次メッシュ	3次メッシュ
松戸	5339-57	50	鴻巣	5439-04	52,61,70,71,72,84,86,94,98,99
与野	5339-64	36	久喜	5439-05	07,26,27,58,60,61,68,69,78,88,91,99
越谷	5339-66	30,39,41,50,51,77,94,95,98	宝珠花	5439-06	32,43,46,53,80,81,84,90,94
流山	5339-67	51	熊谷	5439-13	15,17,18,25,26,39,56,58,59,62,68,69,78,79,88,95
川越北部	5339-73	89,99	加須	5439-14	25,26,34,40,50,60
上尾	5339-74	51	栗橋	5439-15	44,54,55,65
岩槻	5339-75	34,35,37,43,44,47,52,53,54,56,57,59,64,65,66,69,78,79,88,93	下総境	5439-16	02,12,14,21
野田市	5339-76	04,06,07,14,15,23,24,25,34,35,37,52,67,73,83,91	妻沼	5439-23	09,25,29,37,39
守谷	5339-77	05,62	館林	5439-24	00,03,15,17,19,28,36,37,49
東松山	5439-03	69,78	古河	5439-25	33,43,61



に参加して下さい。

■只今、求愛の真っ最中

シラコバトばかり追いかけしているとその習性も知らず知らずの内に分かってくる。4月から5月にかけては求愛のシーズン。特に個体数の多い三郷市半田の養鶏場や杉戸町宮前



の牧場では、鶏舎や近隣の電線などいたる所で求愛のディスプレイが見られる。「ポポーッポー」と鳴きながら頸を上下に振るキジバトでも見られるディスプレイをよく見ていると「ポポーッ」で頸を下げ「ポー」で胸を張るように頸を上げる。その際出来るだけ大きく頸の羽を膨らませている。(写真右の個体)。また、ペアになった2羽なのか、やるせないような声で「クー」「クー」と鳴き交わしながら追い駆けっこをしている様が見られる。

■荒川より利根川の水が好き？

水路伝いに分布を広げたことがうかがえるが、利根川水系の水路沿いに北上を続けており、なかなか荒川を越さない。

北上だけでなく南下もしているのではないかと疑問がわく。確か『Birder』誌に茨城県波崎町で激写されたシラコバトが載っていた記憶がある。

■調査こぼれ話

畜産農家の調査をしていて、農家の人に話をしてみると気さくに答えてくれる。松伏町の某養鶏場ではネズミの食害対策に猫を飼いはじめたらシラコバトばかり捕まえたそうだ。ムクドリやスズメより運動性が劣るとのこと。利根川沿いの野田市芽吹や関宿町台町では、堤防沿いに500m間隔で養豚や牧牛農家が続けているが、屋敷林がないためにオオタカに狙われるのか、群れをなしたシラコバトにお目にかかれぬのも、運動性の問題かも知れない。

栗橋町十三橋の養豚場では、30mほど離れた2棟の豚舎があり、一棟には沢山いるのもう一棟には全くいない。不思議に思いよく調べてみると、いない方の豚舎では烏骨鶏を放し飼いにしていた。豚が食べ散らかした飼料を烏骨鶏がせっせと食べ、シラコバトの割り込む余地がなかったのである。

■今後の予定

引き続き「シラコバト観察報告」と「ネガティブ・レポート」の収集を行います。特に、空白域として浮上した鷺宮町、加須市、大利根町、菖蒲町、北本市を重点的に調べます。この地域にお住まいの会員方よろしくお願ひします。また、「畜産業者リスト」を欲しい方は、見つけ隊・橋口までご一報下さい。

支部ホームページで中間のまとめを掲載するとともに、インターネットを利用してのキャンペーンや近隣の日本野鳥の会支部に協力要請を検討しています。インターネットをご利用の会員は情報交換の場を作りたいと思いますので支部ホームページを通じてE-mailアドレスをお知らせ下さい。

シラコバト見つけ隊隊長 橋口長和

■今月の観察報告

4月1日	久喜市河原井町 菖蒲公園内	2羽	長嶋 宏之
4月2日	行田市小見 小見交差点付近	1羽	四分一保雄
4月2日	羽生市中央4丁目	1羽	四分一保雄
4月4日	越谷市大吉 野鳥の森公園池側	2羽	野村 修己
4月8日	松伏町筑比地595番地 金杉郵便局付近	2羽	田邊八州雄
4月8日	吉川市拾壹軒541番地 養鶏場付近	3羽	田邊八州雄
4月9日	松伏町大川戸2442番地 八幡神社付近	4羽	田邊八州雄
4月15日	騎西町上種足 稲穂道路上種足交差点	1羽	橋口 長和
4月15日	鴻巣市笠原4655 イセファーム	8羽	橋口 長和
4月15日	蓮田市馬込2875付近の田圃	2羽	橋口 長和
4月16日	越谷市増林3500番地付近	1羽	田邊八州雄
4月16日	松伏町ゆめみ野 松伏工業団地東南角付近	5羽	田邊八州雄
4月22日	岩槻市上野 城北大橋上流10m	9羽	中村 榮男
4月22日	板倉町 中央エントランス南側の牛舎	2羽	橋口 長和
4月22日	北川辺町柳生 駅南1kmの所	1羽	橋口 長和
4月22日	栗橋町高柳 十三橋の養豚場	13羽	橋口 長和
4月22日	幸手市木立 広域農道入口交差点付近	2羽	橋口 長和
4月23日	岩槻市東岩槻5-8	1羽	山田由紀子
4月28日	春日部市豊野4-2の前 南中曾根の飛び地	4羽	松田 裕子
4月29日	岩槻市小溝730 養鶏場	1羽	橋口 長和
5月1日	岩槻市上野 城北大橋上流10m養豚場	5羽	松下 猛
5月3日	岩槻市南平野92付近	1羽	山田由紀子
5月5日	春日部市上大増新田 立野小近くの田	2羽	松田 裕子
5月6日	春日部市谷原新田 春日部消防署の建物	2羽	松田 裕子

(5月6日までに見つけ隊が受け付けた報告で重複場所を整理した)

2000年夏「鳥の目から環境を調べよう！」 調査依頼（再）

研究部

本調査の観察期間を5月10日から7月10日とし、会員各位のご自宅から半径50m以内で観察された鳥を今月号に同封する調査はがきで7月10日過ぎにお知らせ下さい。

環境と鳥との関係を見る調査ですので、ドバト、ワカケホンセイインコ、セキセイインコなどかご抜けの鳥もご記入下さい。

1995/1996年冬、1996年夏から年2回会員の皆様方のご協力を得て実施してきました本調査も、2000年夏をもって終了する事となりました。最後ですので、よろしくお願い申し上げます。
(小荷田行男)

1999年秋 埼玉県 タカの渡り

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

はじめに

本調査は、天候の関係から9月23日(木)と26日(日)の両日に行われました。

調査結果

本年も県内のタカの渡りの主要ルートである丘陵地帯と低山地帯の境付近、JR八高線周辺に4ヶ所の調査地を設けました(表1)。23日と26日の種別の観察数(表2)、渡りの方向と推定ルート(表3)、1986年からのサシバの渡りの数(表4)を示します。

おわりに

23日、26日の両日、30名の会員の皆様にご協力頂きました。誠にありがとうございました。
(小荷田行男)

表1 調査状況

調査地	標高	調査者	調査日と調査時間	天候
鐘撞堂山山頂(寄居町)	330m	後藤康夫 後藤康夫他2名 和田康男	9/19 7:50~12:30 9/23 8:30~13:30 9/26 8:30~12:40	曇 曇のち晴 晴
丸山展望台(横瀬町)	960m	森本國夫 小荷田行男他1名	9/23 9:23~13:10 9/26 8:17~13:00	霧のち曇 晴
物見山駐車場(東松山市鳩山町)	130m	榎本秀和 他7名 後藤康夫他1名	9/23 9:30~12:30 9/26 8:30~12:00	曇のち晴 晴
天覧山山頂(飯能市)	190m	佐久間博文 他10名 佐久間博文	9/23 9:30~13:30 9/26 9:00~12:00	霧のちうす曇 晴

表3 タカの渡りの方向と推定ルート

調査地	主な渡りの方向	渡りの推定ルート
鐘撞堂山	北東→南西	釜伏山方向へ
丸山	北東→南	高崎方面から正丸峠へ
物見山	北東→南西	
天覧山	北→南	

表2 タカの渡りの種別の観察数

調査地	調査月日	ハチクマ	トビ	オオタカ	ハイタカ	ノスリ	サシバ	チュウヒ	ハヤブサ	チゴハヤブサ	ツミ	タカS P
鐘撞堂山	9/19		1	2	1		3				1	
	9/23	4			1		18					
	9/26	7	1	8			3					
丸山	9/23					1	1					
	9/26	1	1				5					1
物見山	9/23	1		5			34				1	
	9/26		1	2			4					
天覧山	9/23						180					
	9/26	2					21					

表4 各年の調査日におけるサシバ渡りの数

年	月日	天候	金沢神社	鐘撞堂山	堂平山	丸山	物見山	白金平	高瀬山	天覧山	那の内	湯沢
1986	10/5	晴	-	6 (9/23 31)	-	-	-	-	52	-	-	-
1987	10/4	快晴	-	4 (9/23 31)	-	-	28 (10/3 6)	-	149	-	-	-
1988	10/2	曇	-	10 (10/1 150)	-	-	19	0	1	-	-	-
1989	10/1	晴	-	25 (9/23 105)	-	-	100	14	79	150	-	-
1990	10/10	快晴	1	- (9/23 19)	-	-	-	-	-	2	-	-
1991	9/29	晴のち曇	13	34	-	-	29	-	21	151	-	-
1992	9/27	快晴	7	21	6	-	10	-	-	31	17	-
1993	9/26	快晴	-	19	45	-	3	-	-	73	0	-
1994	9/25	晴のち曇	-	15	0	-	0 (10/2 122)	-	-	30	-	-
1995	10/1	晴	-	0	0	-	57	-	-	84	-	14
1996	9/29	晴	-	-	0 (9/22 5)	-	1	-	-	4 (9/28 238)	-	-
1997	9/28	快晴	-	3	9	10	1	-	-	30	-	-
1998	10/4	晴	-	0	-	3	2	-	-	18	-	-
1999	9/23	曇	-	18	-	1	34	-	-	180	-	-
	9/26	晴	-	3	-	5	3	-	-	21	-	-

注：()は各年における最大値とその観察日



野鳥情報

菟浦町栢間 ◇2月6日、神明神社でシロハラ♂2羽。いつもこの頃の時期になると、社林の暗い処で、がさごそ、がさごそと、餌を捜すのに忙しいのか、3m位のところで見ていても、われ関せずでした。ヤマガラ、シメ、ルリビタキ1羽。カケス多数（内藤義雄）。

岩槻文化公園 ◇3月2日、南奥でカワラヒワ群れ中にアトリ1羽（鈴木紀雄）。◇3月13日、林の中からトラツグミ1羽、すばしこく出て、泥の上を歩いていた。ヤマガラ2羽、アオジ2羽、カシラダカ3羽、シメ1羽、カケス3羽（角田きみ子）。◇3月25日、テニスコート脇のシダレヤナギの枝でヒレンジャク7羽、新芽をついばんでいた（長野誠治）。

岩槻市太田 ◇3月28日、実家の庭先で石油ストーブのタンクに灯油を入れていたら、頭上をハト大の鳥が通過して、2階の物干台の手すりに背を見せてとまった。なんとツミ♀でビックリ仰天。双眼鏡を持ってきて観察。黄色いリングと金色の目、眉斑なし。尾の横縞などをじっくり見ることができた（鈴木紀雄）。

岩槻市栢崎 ◇4月1日午後10時30分頃、帰宅途中、車の前から飛び上った鳥1羽。ヘッドライトに浮かび上がった姿は、フクロウ科の鳥。大きさからオオコノハズクと思われる（藤原寛治）。



コムクドリ（海老原美夫）

伊奈町 KDD の森 ◇3月7日午前8時40分頃、通勤途中の KDD の森で「ジェージェー」というにぎやかな声。近づいて見るとカケス15~16羽（山本伊都子）。

蓮田市黒浜 ◇3月30日、トラツグミ1羽、草原を歩いていたら飛びたつた。羽下側の白黒模様がよく見えた。4月24日、疎林でオオルリ♀1羽、スズメより大きめで喉がたて三角に淡色部があった（鈴木紀雄）。

◇4月9日、黒浜沼の上空でオオタカ2羽、少し大きめと小さめの2羽で♂♀だろう。初めカラスが4羽絡んでいたが、瞬く間に10羽を超えて集まった。オオタカは2羽でのソアリングを諦め、2方向に分れた。♀にはカラスの多くが絡んで、間もなく視界から消えた。♂には、4羽のカラスが絡んでいたが、これは、高く舞い上がりカラスを振りきり、飛び去って行った。黒浜の田んぼでムナグロ約20羽（道祖土修一）。

三郷市江戸川 ◇2月14日、中川排水機場近くでカンムリカイツブリ1羽。武蔵野線鉄橋下流側のカヤの中でホオアカ1羽（岩瀬和志）。

戸田市道満 ◇2月20日、道満グリーンパークの野球場芝生でタゲリ1羽、釣堀でゴイサギ幼鳥1羽（陶山和良）。◇3月1日~3日、野球場芝生でタゲリ5羽（岩井義雄、陶山和良）。◇3月11日、彩湖でミコアイサ♂1羽♀7~8羽、カンムリカイツブリ（後藤康夫、澤井清）。◇3月13日、彩湖でツリスガラ14羽、3月25日、コチドリ1羽、観察者今期初認。クイナ1羽（高橋達也）。◇3月26日、彩湖、風の原っぱでコジュリン夏羽1羽、ホオアカ夏冬中間羽2羽、オオジュリン夏羽1羽、冬羽10羽以上。4月2日、第1ピオトープのアシ原でツリスガラ♂2羽♀2羽、ベニマシコ♂2羽♀2羽（高田範之）。

浦和市荒川総合運動公園 ◇2月27日、車道からわずか5mほどの芝生でタゲリ、かんむりが見事で感動を得ました。飛び立ったので追跡したところ、3羽を見ました（桑木野文章）。

浦和市秋ヶ瀬 ◇3月11日、子供の森でヒレ

ンジャク1羽(後藤康夫、澤井清)。◇3月15日、大久保農耕地B区でオオタカ成鳥1羽、若鳥1羽。100m程離れた木にとまり、鳴き交わしていた。南のはずれの小川で、水浴びから出てきたヒヨドリ4~5羽の中にビレンジャク1羽が混じっていた。冠羽が濡れてビショビショ(鈴木紀雄)。
◇3月18日、子供の森でヒレンジャク♂♀各1羽。翌朝早は猛禽に襲われたか、無惨な姿で発見された(高田範之)。◇4月2日、ピクニックの森でマヒワ♂1羽、ヤマガラ1羽(高田範之)。

浦和市下山口新田 ◇3月24日、芝川調節池の水面を滑るようにツバメ10数羽が飛び回っていた。ツバメの下には、キンクロハジロ、ハシビロガモ。3月29日、コチドリ8羽、「ピュ〜」と鳴きながら、せわしく動き回り採餌していた(鈴木紀雄)。

浦和市白幡沼 ◇3月24日、キセキレイ1羽(百瀬修)。◇3月30日、ツバメ1羽、水面上を元気に飛んでいた(海老原教子)。

浦和市鹿手袋 ◇3月27日、我家の庭でウグイス1羽、へたくそに鳴いていた(海老原教子)。

大宮市見沼 ◇3月11日、市民の森沿いの芝川でウズラシギ1羽、中州でさかんに採餌していた。観察者当地初認。コチドリ1羽(松村禎夫)。

北本市自然観察公園 ◇4月1日、駐車場側の奥の枯れ木でサシバ1羽。飛んで上空を舞った(鈴木紀雄)。

秩父市羊山公園 ◇2月4日、ウソ♀1羽、コイカル、シロハラ、カケス。2月13日、ベニマシコ♂2羽、シロハラ、ゴジュウカラ2羽、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、エナガ、キクイタダキ、アオゲラ、イカル。3



オオルリ(海老原美夫)

月4日、キレンジャク、ウソ♀3羽。3月6日、クロジ。3月7日、ヒレンジャク1羽。3月10日、クロジ、アカゲラ、アオゲラ、エナガ、ヤマガラ、シロハラ。3月11日、ウソ♀1羽、ゴジュウカラ(山岸昭治)。

本庄市利根川 ◇3月2日、坂東大橋下流でヨシガモ♂29羽♀多数、今冬これほどの数を観察したことがなかったので、おそらく北へ替える途中の群れが立ち寄ったものと思われる。カワアイサ♂2羽♀3羽、オカヨシガモ♂42羽♀多数、ハシビロガモ♂2羽♀1羽、タゲリ5羽、オオジュリン10羽以上、アオサギ2羽(北川慎一)。

狭山丘陵ふれあいの里センター ◇3月25日、シロハラ、ルリビタキ♂♀各1羽(小林ますみ)。

寄居町玉淀湖 3月19日、ツバメ1羽。ヤマセミ1羽、大きなウグイをつかまえて、飲み込むのに苦労していた(新井巖)。

滑川町武蔵丘陵森林公園 ◇4月16日、ルリビタキ♂1羽、ピンズイ約10羽、オカヨシガモ♂6羽♀4羽、ヨシガモ♂1羽(小林茂・ますみ)。

狭山市智光山公園 ◇4月19日、シロハラ、シメ。ケラのドラミング(小林ますみ)。

表紙の写真

ヤツガシラ(ブッポウソウ目ヤツガシラ科ヤツガシラ属)

撮影:松村禎夫(大宮市) 平成12年4月27日、都内江戸川区葛西臨海公園にて。

ヨーロッパ中部と南部、北アフリカ、南アフリカ、マダガスカル、南アジアに分布している。日本には旅鳥として飛来するが、少ない。藪や林周辺の開けた草地、畑などで土の中の虫を捕らえて食べる。ときおり冠羽を扇の様に立てる。あまり聞くことはないが、ポーポーあるいはフープフープと鳴き、それが英名「Hoopoe」の由来になっているという。 解説:編集部

行事あんない



北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：6月4日（日）

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。

交通：JR 高崎線北本駅西口アイメガネ前より北里メディカルセンター病院行きバス8：40発にて、「自然観察公園前」下車。

担当：岡安、大坂、内藤、島田、高（文）、立岩、永野（安）、永野（京）、高（剋）、山田、今井、山野

見どころ：若竹がしっかりと根を張り、ツバメが空を抜ける6月。鳥たちは子育ての真最中。パンとカイツブリの親子などを、そっと覗かせてもらいましょう。新たな発見のある探鳥会となりますように。

浦和市・民家園周辺定例探鳥会

<差間コース>

期日：6月4日（日）

集合：午前9時、浦和市くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR 浦和駅西口バス1番乗り場より、さぎ山記念公園行き8：15発、または大崎園芸植物園行き8：36発に乘車、「念仏橋」下車。

後援：浦和市くらしの博物館民家園

担当：手塚、伊藤、工藤、笠原、倉林、吉岡（洋）、若林、新井（勇）

見どころ：緑一面のアシ原の中で、鳥たちの

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。悪天候の時は中止、小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

大合唱に耳をかたむけてみませんか。梅雨を迎えて、徐々に蒸し暑さも加わってくる季節ですが、さわやかなカッコウの声を聞くだけでも気分は最高です。なお調節池が工事中のため、状況によってはコースの変更があります。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：6月11日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷9：11発、または寄居8：49発に乗車。

担当：和田、森本、中島（章）、石井（博）、倉崎、松本、中里、高橋、後藤

見どころ：田んぼに水が入り、蛙が元気よく鳴く季節になりました。遠くにはカッコウの声も聞こえることでしょう。明戸堰のササゴイにはここ数年ご無沙汰していますが、ぜひ会いたいですね。雨が多い時期、雨具の用意もお忘れなく。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：6月18日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、浦和市立郷土博物館前。

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、手塚、伊藤、倉林、渡辺（周）、笠原、若林、兼元、森（力）、清水

見どころ：今年の春の見沼たんぼは、桜の後に菜の花やレンゲの花畑が広がり、すばらしい景色になりました。6月は稲の緑が風にそよぎ、オオヨシキリやセッカの声が聞こえてくるでしょう。こんないいところで鳥たちと遊べる楽しみ！

坂戸市・高麗川探鳥会

期日：6月18日（日）

集合：午前9時、東武越生線川角駅前。

交通：東武東上線川越8：17→坂戸にて越生線乗換え8：43発。または寄居7：53→小川町乗継ぎにて坂戸乗換え。JR川越線大宮7：55→川越にて東武東上線乗換え。

担当：藤掛、高草木、石井（幸）、青山、久保田、志村、増尾、佐藤（壮）、吉田（時）、林（久）、池永

見どころ：高麗川で子育て中のカイツブリ、バンを、昨年は見ることができました。今年は、カワセミの雛がダイビングの練習をする様子を見たいものですね。河川敷を歩きます。梅雨時で水たまりも多いので、それなりの靴でご参加ください。雨具もお忘れなく。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：6月24日（土）1時～2時ごろ

会場：支部事務局108号室

案内：日めくり、その日の過去30年間のデータによる気象確率が載っている。それを見ると6月は太陽マークは1日だけ。雲マークが19日、残りは傘の10日となっている。うとうしい日が続くのもしかたがない。そんな日々は静かに家で勉強？ それもあきますね。そんなときは鳥仲間とおしゃべりしながらの「袋づめ」にお出かけ下さい。気晴らしにもなると思いますよ。

支部総会のご案内

日時：6月25日（日）午後1時30分から。

会場：浦和市民会館

くわしくは、12ページの「連絡帳」をご覧ください。

上尾市・八枝神社探鳥会（夕方）

期日：7月1日（土）

集合：午後6時、上尾市平方八枝神社境内。

交通：JR大宮駅西口、東武バス8番乗り場から、平方行き17：18発で終点下車。

担当：高（文）、阿久沢、立岩

見どころ：「夕暮れ時に神社に集合して何を見るか」って？ 毎年この時期この時間、ご存じ！目がクリクリした可愛い鳥ですよ。今年も無事に来てくれるのでしょうか。そっと観察しましょう。注意：蚊の多いところですよ。防虫スプレーがあると便利です。

北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：7月2日（日）

集合：午前8時10分、東武日光線片倉東洋大前駅。または午前8時30分、片倉町総合運動公園入口小広場。

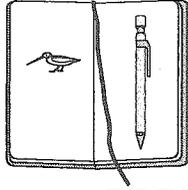
交通：東武日光線新越谷7：15→春日部7：28→栗橋7：55→片倉東洋大前8：07着。JR宇都宮線大宮7：08→栗橋7：43着、東武日光線乗り換え。

担当：橋口、高（文）、玉井、内田、入山、高（尅）、田邊、中里

見どころ：親水ゾーンでアシ原の鳥を観察します。オオヨシキリ、セッカ、ヨシゴイ、ササゴイが見られます。集合は前回より1時間早くなっています。暑さ対策、飲料水、それに雨具の用意も忘れずにお出かけください。



ヨタカ（海老原美夫）



行事報告

2月11日(金、休) 上尾市 丸山公園

参加: 33人 天気: 晴

カイツブリ カワウ コサギ アオサギ カルガモ オオタカ コジュケイ キジ タゲリ タシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ シロハラ ツグミ ウグイス ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ アトリ カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (41種) H君、S君の熱心なかわいい仲間をまじえ33名で、天候に恵まれ気持ちの良い早朝探鳥会。ご挨拶はシメ。公園では、かわいいヤマガラ、ヒガラ。林では、カシラダカ、アトリ。土手沿いのコースで、全員でかわいい目のきれいなタゲリ1羽をたっぷり見る。草原にはベニマシコ。期待のカワセミ君は、最後に少々参加。モズはもうベアーを組んでいた。たくさん鳥を探してくれたリーダー、参加者の方々、鳥たちに感謝。私は時計を見ていただけ。(浅見健一)

2月11日(金、休) 戸田市 彩湖

参加: 96人 天気: 快晴

カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ バン オオバン イソシギ ユリカモメ セグロカモメ カモメ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ ツグミ ウグイス セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (47種) 無風快晴であったかい。初めてのリーダーで心配を抱えて出発。池のほとりで人なつっこいアオジ。釣り堀の林にそった公園

ではアカハラがチラリ。彩湖ではカワウが200~300羽水面に。久しぶりのミコアイサのみ。初めてのカモメ。鉄橋下の草原でオオジュリン。終わりに近くなった頃ノスリ。駄目押しのおオオタカ。ハヤブサは残念ながら参考記録になった。47種に大いに盛り上がり、私はホッ。(倉林宗太郎)

2月13日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 54人 天気: 晴

カワウ カルガモ トビ オオタカ チョウゲンボウ キジ セグロカモメ キジバト アカゲラ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ アトリ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (32種) 先月に次ぐ54名の参加となったが、川原の草原は野焼き、工事等で鳥にとっては最悪の環境。そこでアトリの定着が確認された野鳥の森方面のコースを取った。途中、チョウゲンボウ、アカゲラ等が現れ、気を引き締めてくれる。運動公園近くの池に着いたときは、カシラダカしか見えなかったが、気長に待つこと約20分。そろそろあきらめかけたとき、ついに本日の目玉アトリの群れが近くの木に飛来し、全員で堪能。

(和田康男)

2月13日(日) 大宮市 大宮市民の森

参加: 60人 天気: 快晴

ダイサギ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ チョウゲンボウ バン タシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 芝川沿いを定番のカモ、バンをじっくり観察していく。途中チョウゲンボ

ウが出現して場を盛り上げる。オオジュリン、クイナは残念であったが、芝川のカワセミは全員でゆっくり見られた。新聞に行事案内が掲載されたためか、初心者参加が多く、入会パンフレットがよく出た。
(工藤洋三)

2月16日(水) 戸田市 彩湖

参加: 29人 天気: 晴後曇

カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ オオタカ チョウゲンボウ バン オオバン ユリカモメ セグロカモメ キジバト カワセミ ヒバリ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (40種) かなり冷え込んで風が冷たい。鳥たちはなぜか静かである。釣り堀わきの公園でアカハラを全員で。湖畔にある釣り堀のはしでベニマシコをつがい20分位。鴨8種。ミコアイサの♂は留守。風が強くなるのを心配したが、大丈夫だった。

(倉林宗太郎)

2月20日(日) 深谷市 仙元山公園

参加: 39人 天気: 曇時々小雪

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ トビ キジバト アオバト アカゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス キクイタダキ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシブトガラス ハシボソガラス (35種) いつ雪が降っても不思議ではない寒い日にもかかわらず、39人の参加者。そのうちの2/3は市内の方。「年1回では少ない」との声も寄せられる等、すっかり定着した感がある。今回のVIPは電線に止まるアオバトだった。全員感激!の様子だった。
(小池一男)

2月20日(日) 浦和市 三室地区

雨のため中止。

2月20日(日) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加: 12人 天気: 雪後雨

カイツブリ カワウ アオサギ オシドリ マガモ コガモ カルガモ ヨシガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ バン キジバト アカゲラ コゲラ ビンズイ ヒヨドリ モズ ルリビタキ トラツグミ シロハラ ツグミ ウグイス エナガ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ アオジ シメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (35種) 雪の中、園内は人気がない。まず、林道の枯れ葉の上でシロハラを確認。記念塔下の斜面林では、採餌に夢中のトラツグミと面会。参加者全員が大満足。雨になり、目的地まで急ぐことに。途中、ビンズイ、アカゲラ出現。エナガ、ヒガラ、ヤマガラなどの混群に何度も遭遇。山田大沼ではオシドリ12羽、当地では珍しい♂のミコアイサ、手の届くような距離にはヨシガモ君。12名で見るとは何と贅沢なことか。雪の森林公園に感謝。

(島田恵司)

2月26日(土) 東松山市 物見山

参加: 38人 天気: 曇

カルガモ キジバト カワセミ コゲラ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス キクイタダキ エナガ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) この冬はルリビタキをよく見かける。この日も、探鳥会開始前を含め♂に4回、♀タイプに1回遭遇し、しかも多人数でじっくり観察することができた。また、カラの混群に何度も出くわすなど、寒かったが充実した探鳥会となった。
(榎本秀和)

2月26日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 20人

荒木恒夫、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、尾崎甲四郎、小池由美子、佐久間博文、篠原東彦、島田恵司、島田沙織里、志村佐治、陶山和良、納谷美月、橋口長和、福井昭子、藤野富代、増尾隆、松村禎夫、百瀬修、山野庸子

連絡中長

●支部総会開催のお知らせ

日時：平成12年6月25日（日）

午後1時 受付開始

午後1時30分～2時30分 記念講演

午後2時30分～4時30分 総会

会場：浦和市民会館

交通：浦和駅西口から県庁通りを県庁に向かって西進、埼玉会館角を右折、玉蔵院境内を通り抜けた先の左側。駅から徒歩約8分。

記念講演：黒沢令子（本部研究センター嘱託研究員）「東京のカラスとその生態」都内でのカラス調査の結果を報告。

総会の議題：会員制度の変更に伴う支部規約の変更。平成11年度の事業報告と決算報告。平成12年度の事業計画案と予算案。平成12年度の役員選出。

参加資格：埼玉県支部の会員に限りますが、会員であれば、会員種別にかかわらずどなたでも参加できます。

総会終了後、支部事務局に場所を移して懇親会を開く予定です。こちらにもどうぞご参加ください。

●1口1,000円の自然保護

「里山の野鳥と自然を守る」事業の資金を募るバードメイト制度、今年のピンバッジのデザインは、里山の代表的な小鳥、エナガ。会員でも一般の方でも、1口1,000円のご寄付1口ごとにバッジ1個をお送りします。

問合せ先は下記会員センターの企画室（住所とFAX番号は業務室と同じ。電話は03-5358-3510）。一部の探鳥会では申込み用の振替用紙を配布しますのでご利用ください。

●殺人事件の捜査協力依頼にお断り

4月12日群馬県板倉町で遺体が発見された事件につき、付近で普段探鳥をしているバードウォッチャーに協力を求めたいので、会員情報を知らせて欲しいと、警察から本部に依頼があり、埼玉県内の会員も対象に含まれている事から、本部総務部が対応を相談してき

ました。

前月号でもご紹介した通り、当支部では会員情報は公開しない方針ですので、強制力のある法律的手続きがなければ、任意捜査では協力すべきではないという見解を示し、本部の顧問弁護士も同じ意見でしたので、結局野鳥の会としては、協力を断りました。新聞等の報道によれば、その後、事件は解決に向かっているようです。

●会員の本

小学館発行『探鳥地図館—首都圏』（A5版208ページ、定価：本体1,900円+税）は、首都圏100カ所の探鳥地を詳細に紹介。埼玉県内の15カ所は、海老原美夫副支部長が執筆しました。

●6月の事務局 土曜と日曜の予定

3日（土）普及部会議。

4日（日）シラコバト見つけ隊会議。

10日（土）編集会議、研究部会議。

17日（土）校正作業。

18日（日）役員会議。

24日（土）袋づめの会。

●会員数は

5月1日現在2,971人です。

活動報告

4月16日（日）役員会議（司会：高草木泰行、各部の報告・松伏中央公民館と浦和市立郷土博物館親子探鳥会の指導依頼・総会準備・その他）。

4月22日（土）5月号校正（海老原美夫、大坂幸男）。

5月1日（月）5月号発送（藤掛保司）。

編集後記

今年2月3月に降った大雪で、釧路湿原を始めとする道東の湿原は大洪水。道路は各地で通行止め。ほとんどのタンチョウが5月になってもつがいで飛んでいて、今年の道東での繁殖が危ぶまれます。（小荷田行男）

『しらこぼと』2000年6月号（第194号） 定価100円（会員の購読料は会費に含まれます）
発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
〒336-0012 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130
インターネットホームページ <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>

住所変更・退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階
(財)日本野鳥の会会員センター業務室 TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

印刷 関東図書株式会社（本誌掲載記事はすべて上記ホームページに転載されます。本誌から、またはホームページからの無断転載は、かたくお断わりします） 再生紙使用